

かなめ流通G ホットライン

第5回

ふとんクリーニング

繁忙期が終わりに近づくにつれ、次の一手を考えておられることかと思ます。そのひとつに、ふとんクリーニングがあると思います。しかし、ふとんクリーニングを経験したことがある人はわずか2割ほどしかおらず、ふとんがクリーニングできることを知らない人も多いそうです。一度経験するとリピーターになる方が多いというふとんクリーニング。積極的にアピールして取り込んでみませんか？

家庭におけるふとんの取扱い

ふとんを洗えないと思っている人が、どのようにふとんを取り扱っているかという、その代表的な例は、「天日干しをして、ふとん叩きで叩く」ではないかと思ます。しかしこの「ふとんを叩く」という行為は、実はふとんにも人間の体にも良いことではないのです。



では、なぜいけないのでしょうか。それを知らず「叩けばいい」と思ってしまう人がたくさんいることが、ふとんクリーニング利用経験者が2割にとどまっている原因のひとつかもしれません。そこで、以下のように「なぜふとんをクリーニングしなければいけないのか」ということを消費者に伝えることで、ふとんクリーニングの取り込みを図ってみたいかがでしょうか？

なぜ「ふとんクリーニング」は必要なの？

汗は洗わないと取れない！

人は一晩に180cc（コップ約1杯）の汗を掻くと言われています。パジャマやシャツも掻いた汗の一部は吸収しますが、ほとんどはふとんが吸ってしまいます。掛布団には約30%、敷布団には約70%の汗が吸収されます。汗は酸・アルカリ・塩・アンモニア化合物など繊維を傷めるものを多く含んでおり、綿の復元力や保温力を低下させてしまいます。また、皮膚から出る皮脂も付着します。これらは干しただけでは取れません。

さらに

ふとんはダニの巣窟

アレルギー疾患を起こす理由として世界的にもっとも重要視されているのが「ダニ」です。ダニアレルギーの主な原因となるのは、ダニだけではなく、死骸やフン、脱皮殻、その粉末です。これらがふとんの中にはたくさん潜んでいます。

注意

「ふとんを叩く」はNG！

ふとんを干しただけではダニ達はほとんど死にません。さらにふとんを叩くことによって、ただでさえ小さいフンや死骸をもっと細かく砕いてしまい、体内に侵入しやすくなってしまっています。叩いても出てくるのはふとんの中の綿の繊維で、叩くことで保温力・透湿性を失い、中綿がダメになります。

そこで

洗えばダニは落ちる！

シーツやふとんカバーを週に一度は洗濯し、ダニの死骸やダニの食料となるアカやフケを洗い落とすだけでも防ダニ対策になります。頻繁に洗うことの難しいふとんは丸洗いすることで、汗や皮脂、さらにダニやその卵、フンや死骸などアレルギーの原因となるものを洗い流して、ふとんをすっきり清潔にすることができます。

かなめ会員のオススメ



「肩貼りニュースレター 6月号」のテーマは、まさにふとんクリーニング。今回書いたように、ダニの危険性の観点からふとんクリーニングをアピールしています。

ふとんはやっぱり集荷！

ふとんはやはり集荷するのがベスト。重いふとんを持って行く気にはなかなかできないもの。お客さんにチラシを入れて、「おふとんのご用命がありましたら、取りに伺いますので一本電話をください」と書いたら出るのでは。

ふとんは自家処理できる！

ふとんは下請けに出しているところも多いですが、水洗機で洗うことも可能です。中綿が寄る事故を恐れて自家処理しない人も多いと思ますが、「簀巻き洗い」なら、中綿が崩れることはまずありません。ただし、乾燥に時間がかかるので、当然日数をもらわないといけません。

ふとんクリーニングのこれから

冒頭にも書いたように、まだまだふとんクリーニングの認知度は低い。そこで、上記のようにお客さんに知識を与え、ふとんクリーニングの必要性を訴えていくことで、まだまだ市場は大きくなる可能性がある。クリーニング業界のこれからを考えたとき、ふとんを集めることは業界の売上にプラスとなることだし、欠かせない存在になるのではないでしょうか。

次回：消臭・芳香について

(中) 60cmx45cm*15cm

(小) 50cmx32cm*15cm

需要拡大・家庭洗濯からの掘り起こし

「洗濯代行」



KNM GROUP かなめ流通グループ

TEL : 03-5295-0136 FAX : 03-5295-0130